

# 桂浜公園整備計画

～観光はここから始まる～

高知工科大学 140148 吉田研究室 前菌 耕平

## 1, 背景

高知県の景勝地として有名な桂浜。桂浜は龍頭岬と龍王岬の間に広が砂浜である。また昔から月見の名所と名が高く、毎年中秋の名月の夜になると地元出身の歌人・大町桂月を偲びながら文芸など語り酒を酌み交わす「名月酒供養」が開催される。その桂浜に立地する、桂浜公園内の建物は老朽化が進み、ほとんどの人はその建物を足運ぶ事なく、桂浜公園をあとにする人が多い。そこで、桂浜らしさを感じる事ができ活気あふれる観光施設の提案が必要だと私は考える。

## 2, 敷地の概要と問題点

### 敷地の概要

今回の対象地域は桂浜の北東に位置する桂浜公園である。桂浜公園は高知県高知市浦戸に位置し北には浦戸湾、南には太平洋に囲まれた、自然豊かな場所である。桂浜公園は自然豊かな立地であると同時に駐車場から「桂浜」と「坂本龍馬像」に向かう動線途中にあたる敷地である。

### 問題点

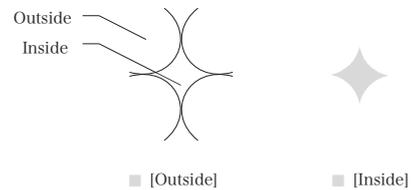
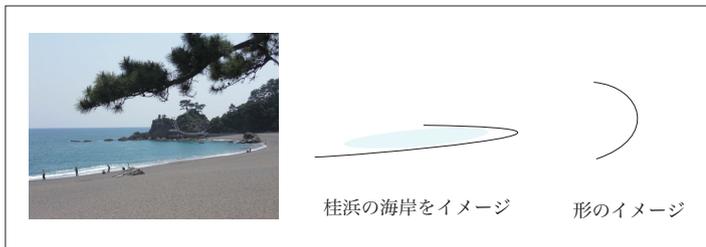
観光案内所が機能していない、動線が単一化されており、店内に足を運ぶ人が少ない、桂浜らしさがなく観光客の滞在時間が短い。

現状問題と以上の事を踏まえ次のコンセプトを軸に設計を進める。

- 1, 周辺の自然と調和し、自然を感じる事ができる建物。
- 2, 建物内に呼び込む動線計画。
- 3, Open Space に付加価値を与え、人がたまり、活気あふれる新しい広場を提案する。

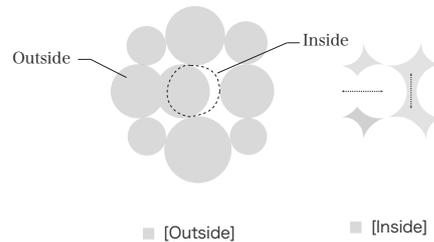
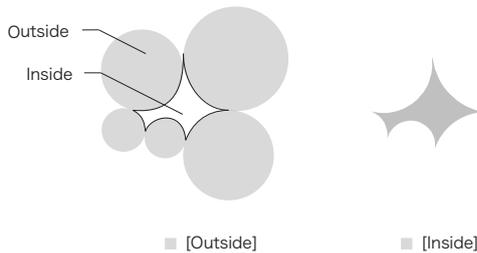
## 3, 平面計画

### [Floor Diagram]



「曲線が接し、内部空間を作る」

曲線同士を接するように配置し、囲まれた空間を内部空間とする。



### [曲線の大きさに変化を与える]

曲線を不均質な空間にする事で内部空間も不均質な空間になる。また曲線を大きくすると内部空間が小さくなり、また曲線を小さくすると内部空間が大きくなる。内部空間は曲線の強弱によって形が変化する。

### 「接しない曲線」

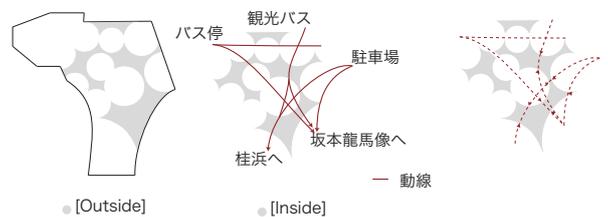
曲線をずらす事により内部空間と内部空間、外部空間と外部空間がそれぞれで繋がり人の流れを生み、人の視線が抜けるようになった。



### [曲線からできる形]

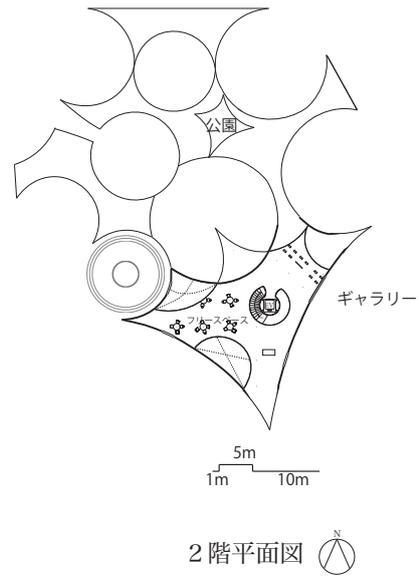
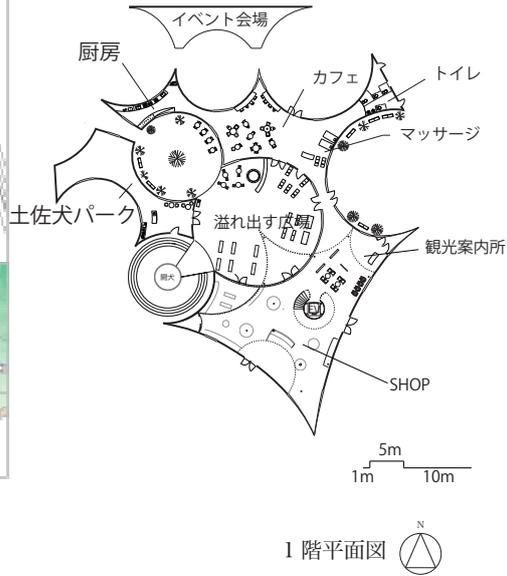
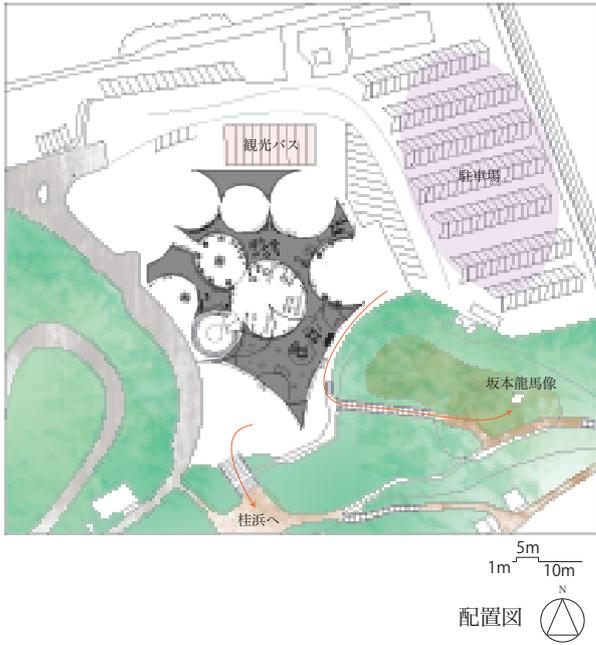
無限に広がる曲線を敷地の形で切り取る。

これにより周辺の敷地に建物の外側に添った形になった。

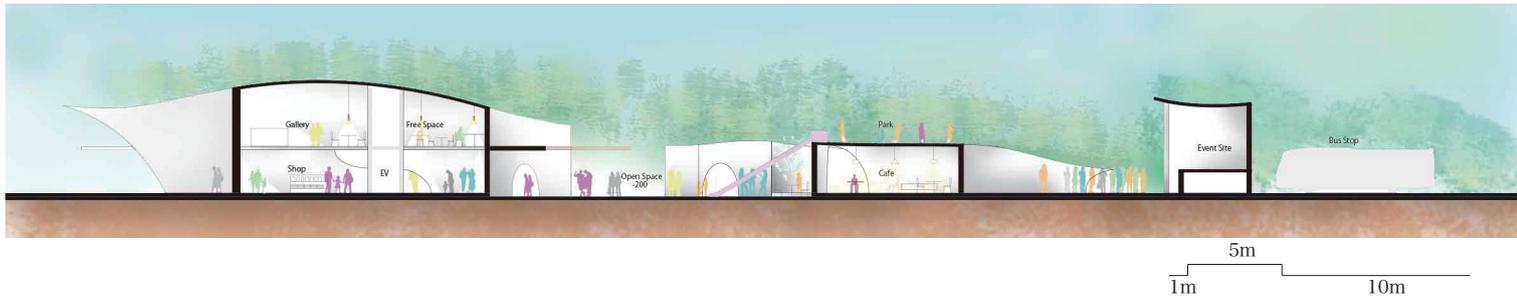


### [人の流れを加える]

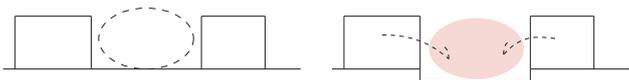
それぞれの交通機関から坂本龍馬像方面と桂浜方面への2つの動線が考えられる。バス停から中の外部空間に抜ける動線に対して建物を切り取り、内部に呼び込む動線計画を行う。他の場所に対しては、建物を切り取らず出入口を設け、観光客を建物内へ呼び込む動線計画とする。



4, 断面計画



[Open Space]

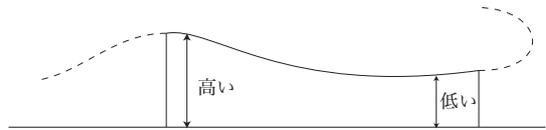


全ての建物が面している、建物内の要素が溢れ出す Open Space の高さを GL(-200) にする事でより要素が流れ込むような断面計画を行った。またその段差のふちに腰かけて座ることができ、賑わいを感じながらも、ゆったりとできる空間になった。

[Inside]

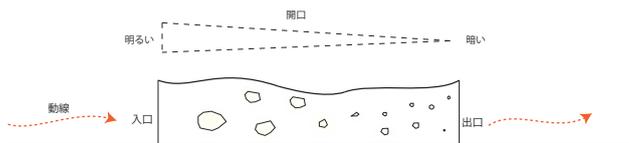


高さが一定の建物が存在する。内部空間は均質である。



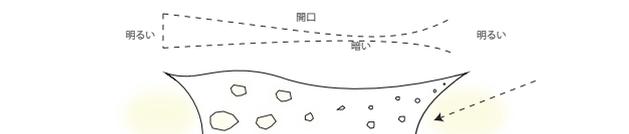
桂浜から感じる海の流れをイメージし、建物の高さに変化を与える。高さが不均質になり、高い所と低い所が生まれた。

[開口計画]



入口から出口となる部分に対して、開口の大きさが小さくなる。

[明暗に強弱を与える]



建物のエッジに大きな開口を設ける事で、明るい空間から徐々に暗くなり、出口付近からやさしい光が内部に溢れ出す。

